



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

県の担当者は熱心に説明するが、県民の声を聞く姿勢がみられないのが残念！

県民の多様な声を聞いてほしいのだ！

6月8日、リリックホールで開かれた「柏崎刈羽原発に係る国及び県の取組み説明会」に参加しました。

早口で説明され、質問は1人1問だけ。司会者は「大勢の質問を保障するため」と進行したが、挙手しても充てられるのは数人で、県民に真摯に向き合っていないように見えなかった。

（1）原子力規制庁の屋内退避検討チームの報告書は、資料3冊で一〇一頁。質問時間20分を会場内、サテライト会場、オンライン参加者と順繰りで5人くらいの質問で時間になった。

（2）原子力規制庁と新潟県被ばく線量シミュレーションの報告は2冊三七頁。質問時間はわずか15分。

（3）新潟県、県技術委員会の報告書の説明は3冊一七九頁。質問時間20分。安全対策の22項目の説明を東電に求め、18項目は

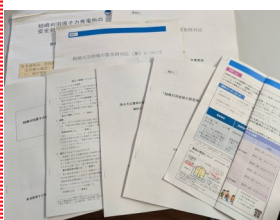
「現時点において安全性に特に問題となる点はない」と確認した。

残る4項目は「原子力規制委員会の判断を否定するものではない」と記述。苦勞した検討の結論だと話されたが、技術委員会の自主的判断を避けた結論だ。「なぜその結論か？」の質問に、回答はあいまいであった。

（4）内閣府、緊急時対応（案）資料は3冊二九一頁。質問時間50分あったが、質問できない人が多かった。

【遠藤のコメント】
「二回の説明会で終了」との姿勢は非常に大問題である。これで県民の多様な声を把握したことにはならない。花角知事の拙速な判断を許してはならない。今後もう。

一気に説明された資料



声をあげ続け、知事に届けよう。

世論を大きく！あなたの声で消費税減税を！
夏の選挙は、国民の暮らしを守る日本共産党で！

シールアンケートに 要求ポイント次々！

平日の午前、午後、地域を訪ね。玄関に出てこれるのは高齢者の方が多い。「シールアンケートしていただきます。協力してください」というと、皆さん気軽にポイントを貼ってくれます。

「消費税下げしてほしい！」「医者通いしてるが窓口負担が高くなって、困る！」「物価が上がってるのに、なんで年金が下がるがれ？」

「トランプは戦争止めるといながら止められない。パリ協定離脱でCO2は減らない。日本は地震が多いのに、

6月7日、孫ちゃんが通う町内の保育園で運動会が開かれました。昔は大勢いたのに、今の孫ちゃんたちは少人数になった。数が減ったからこそ、応援に力が入ります。

遠藤れい子の
笑顔でファイト

「はしれー！がんばれー！可愛い孫に首ったけ。

わーい 元気だぞ～！



6/7孫が通う保育園の運動会。ばあば応援！



びっしり貼られたポイント

気候変動でなお一層災害大国になった。子供や孫の世代が心配だ。」
「米不足は自民党が減反を押し付けてきたのに、小泉農相の『備蓄米放出』で石破政権の支持率が上がるなんて信じられない。」など、様々な不安や要望を話してくださる。参院選で共産党議席の増大で政治を変えましようという対話がはずみます。